

# 駒本だより

令和3年度  
5月号  
令和3年4月30日  
文京区立駒本小学校  
校長 吉岡 淳



## コロナ禍だからこそ、ユニバーサルデザイン

副校長 吉澤 哲則

令和3年度の始業式、入学式が無事に終わり、約1ヶ月が過ぎました。お子さんの様子はいかがでしょう。昨年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために4月と5月が臨時休校だったので、学校に来ることができませんでした。今年度は、新たな気持ちで4月を迎えることができました。新しい教室、新しい友達、新しい担任になりましたが、元気に学校へ登校できているのでしょうか。1年生も初めのうちは、登校に不安を感じているお子さんもいたと思いますが、最近は元気に登校している姿が見られ、うれしい限りです。

さて、コロナ禍となって1年以上が過ぎ、国・都・区で様々なガイドライン等が出され、そのガイドラインを基に、学校の生活の様子も今までとは変わってきました。「新しい生活様式」という言葉で表されていますが、様々なことが制限されているというのが現状です。そんな中で、学校では昨年度も様々な工夫をしながら授業を進めてきました。コロナ禍の中、授業はより簡潔に、よりわかりやすくすることがとても大切になってきます。この「授業をより簡潔に、分かりやすく」という考えが、「授業のユニバーサルデザイン化」となります。本校では、平成26年度より、「授業のユニバーサルデザイン化」の研究を進めてきました。「どの子も伸ばす駒本の教育」を実現すべく、授業の「構造化」「視覚化」「焦点化」「共有化」「意欲化」に取り組んできました。例えば「構造化」とは、授業の流れがわかる簡潔な板書にすること（ノートを書くことが苦手な子でも書ける板書）、「視覚化」とは電子黒板の使用やワークシートの工夫を行うこと（耳で聞くより、目で見ただけの方が頭に残る）、「焦点化」とは発問を簡潔にわかりやすくすること（何を質問しているのか分かるようにする）、「共有化」とは、学び合いを取り入れること（子どもたち同士で考えを共有し、より深い学びに繋げること）、「意欲化」とは簡単なウォーミングアップ学習を取り入れること（授業に対して前向きな気持ちで取り組めるようにする）などです。上で示したのはごく一部ですが、コロナ禍だからこそ、本校の強みを生かし、引き継ぎながら「授業のユニバーサルデザイン化」の充実を図り、子どもたちのよりよい学びに繋げていきたいと思っております。

新型コロナウイルス感染症は、なかなか終息の道筋が見えてきませんが、昨年度に引き続き、感染症の拡大防止をしっかりと考慮して、最大限の教育活動を進めていきたいと思っております。保護者の皆様のご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

## 5月の行事予定

5月のめあて

- ☆ 生活 れいぎ正しくしよう。
- ☆ 保健 \_\_\_\_時までには寝よう。（クラスで決める）強いからだをつくろう。
- ☆ 給食 食べもののなかまを知ろう。

日	曜	行事	日	曜	行事
1	土		17	月	全校朝会 内科検診(4・5・6年)
2	日		18	火	聴力検査(3年)
3	月	憲法記念日	19	水	聴力検査(2年)
4	火	みどりの日	20	木	体力テスト 眼科検診 PTA 総会
5	水	こどもの日	21	金	体力テスト 尿検査2次
6	木	安全指導 尿検査1次追加	22	土	
7	金	交通安全教室(1年) 視力検査(2年)	23	日	
8	土		24	月	全校朝会 クラブ活動 尿検査2次追加
9	日		25	火	耳鼻科検診
10	月	全校朝会 委員会活動 内科検診(1・2・3年)	26	水	アーティストイン音楽室(6年)
11	火	視力検査(1年)	27	木	全国学力調査(6年)
12	水	4時間授業 交通安全教室(2年) 視力検査(5年)	28	金	個人面談 5時間
13	木	避難訓練	29	土	
14	金		30	日	
15	土		31	月	全校朝会 個人面談 5時間
16	日				

